



2022年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年10月1日

上場会社名 株式会社ダイセキ環境ソリューション 上場取引所 東 名
 コード番号 1712 URL <https://www.daiseki-eco.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 浩也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画管理本部長 (氏名) 珍道 直人 TEL 052-819-5310
 四半期報告書提出予定日 2021年10月8日 配当支払開始予定日 2021年10月26日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第2四半期の連結業績（2021年3月1日～2021年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第2四半期	9,099	22.8	1,293	181.7	1,299	173.2	797	208.3
2021年2月期第2四半期	7,406	5.3	458	△28.4	475	△29.7	258	△35.3

(注) 包括利益 2022年2月期第2四半期 973百万円 (190.5%) 2021年2月期第2四半期 335百万円 (30.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第2四半期	47.48	—
2021年2月期第2四半期	15.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第2四半期	21,491	14,660	64.5
2021年2月期	21,275	13,761	61.3

(参考) 自己資本 2022年2月期第2四半期 13,879百万円 2021年2月期 13,062百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	3.00	—	3.00	6.00
2022年2月期	—	3.00	—	—	—
2022年2月期（予想）	—	—	—	5.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,500	17.3	2,100	74.0	2,105	69.5	1,278	85.4	76.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期2Q	16,827,120株	2021年2月期	16,827,120株
② 期末自己株式数	2022年2月期2Q	27,861株	2021年2月期	16,118株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期2Q	16,804,574株	2021年2月期2Q	16,803,223株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあるなか、景気は回復基調にあるものの一部で弱さが増えています。先行きについては、感染拡大の防止策を講じ各種政策の効果や海外経済の改善により、持ち直しの動きが続くことが期待されますが、感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意し、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

当社グループの属する建設業界におきましては、民間設備投資は製造業を中心に持ち直しの傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染症による影響等が不透明であり、経営環境は依然として予断を許さない状況が続くものと予想されます。

このような背景のもと、当社グループの主力事業である土壌汚染調査・処理事業においては、高利益率案件の受注やコンサルティング営業に注力いたしました。大都市圏における低価格競争が激しくなるものの受注量及び受注単価は堅調に推移し、前期に受注した複数の工事案件の完工や大規模インフラ整備工事案件等が業績に貢献しました。また、高利益率案件の割合が増加した結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高9,099百万円（前年同期比22.8%増）、営業利益1,293百万円（同181.7%増）、経常利益1,299百万円（同173.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益797百万円（同208.3%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

（土壌汚染調査・処理事業）

土壌処理需要の回復傾向が持続するなか、高利益率案件の受注やコンサルティング営業に注力いたしました。前期に受注した東名阪の工事案件の完工が進み、岐阜リサイクルセンターにおける中京エリアの大規模インフラ整備工事案件が業績を牽引した結果、売上高7,547百万円（前年同期比25.9%増）、営業利益1,265百万円（同135.2%増）となりました。

（廃石膏ボードリサイクル事業）

廃石膏ボードの処理量は株式会社グリーンアローズ中部及び株式会社グリーンアローズ九州ともに前年同期と比較して大きく増加しました。また、土壌固化材は大口先の需要が端境期となるなか、代理店販売や直販ルートの営業を強化した結果、売上高1,081百万円（同20.1%増）、営業利益309百万円（同64.9%増）となりました。

（その他）

PCB事業及びバイオディーゼル燃料（BDF）事業が堅調に推移したものの、一般廃棄物処理事業の売上が前第2四半期連結累計期間と比較して減少した結果、売上高619百万円（同0.4%増）、営業利益79百万円（同16.0%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は21,491百万円となり、前連結会計年度末に比べ215百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が増加し、現金及び預金及びたな卸資産が減少したことによりです。

当第2四半期連結会計期間末の負債は6,830百万円となり、前連結会計年度末に比べ683百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによりです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は14,660百万円となり、前連結会計年度末に比べ899百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が増加したことによりです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の連結業績予想につきましては、「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」（2021年9月17日付）にて公表のとおりであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,031	368
受取手形及び売掛金	2,475	3,432
たな卸資産	680	362
その他	68	104
貸倒引当金	△3	△5
流動資産合計	4,252	4,262
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,192	6,253
土地	8,044	8,044
建設仮勘定	123	56
その他（純額）	1,808	1,931
有形固定資産合計	16,168	16,285
無形固定資産	19	23
投資その他の資産		
その他	836	921
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	835	920
固定資産合計	17,023	17,228
資産合計	21,275	21,491
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,158	1,080
短期借入金	980	730
1年内返済予定の長期借入金	1,542	1,533
リース債務	54	56
未払金	211	475
未払法人税等	273	470
賞与引当金	90	96
その他	435	383
流動負債合計	4,746	4,826
固定負債		
長期借入金	2,505	1,738
リース債務	143	148
退職給付に係る負債	114	113
その他	3	3
固定負債合計	2,767	2,004
負債合計	7,513	6,830
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,287	2,287
資本剰余金	2,086	2,087
利益剰余金	8,552	9,299
自己株式	△11	△24
株主資本合計	12,914	13,650
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	154	225
退職給付に係る調整累計額	△6	3
その他の包括利益累計額合計	148	228
非支配株主持分	699	781
純資産合計	13,761	14,660
負債純資産合計	21,275	21,491

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
売上高	7,406	9,099
売上原価	6,236	7,018
売上総利益	1,169	2,080
販売費及び一般管理費	710	787
営業利益	458	1,293
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	4	6
受取保険金	0	—
出資金運用益	8	—
補助金収入	7	2
その他	2	2
営業外収益合計	22	11
営業外費用		
支払利息	5	4
その他	0	0
営業外費用合計	5	5
経常利益	475	1,299
特別利益		
固定資産売却益	0	7
特別利益合計	0	7
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	0	1
特別損失合計	0	1
税金等調整前四半期純利益	475	1,306
法人税、住民税及び事業税	212	444
法人税等調整額	△54	△30
法人税等合計	157	413
四半期純利益	317	893
非支配株主に帰属する四半期純利益	59	95
親会社株主に帰属する四半期純利益	258	797

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
四半期純利益	317	893
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	71
退職給付に係る調整額	△0	9
その他の包括利益合計	17	80
四半期包括利益	335	973
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	276	878
非支配株主に係る四半期包括利益	59	95

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年8月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	土壌汚染調 査・処理事 業	廃石膏ボ ードリサイ クル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,993	894	6,887	518	7,406	—	7,406
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	5	5	98	104	△104	—
計	5,993	899	6,893	617	7,510	△104	7,406
セグメント利益	537	187	725	68	794	△335	458

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境分析事業、BDF事業、PCB事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△335百万円は、セグメント間取引消去10百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△345百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自2021年3月1日至2021年8月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	土壌汚染調 査・処理事 業	廃石膏ボ ードリサイ クル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,544	1,076	8,620	478	9,099	—	9,099
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	4	7	141	148	△148	—
計	7,547	1,081	8,628	619	9,248	△148	9,099
セグメント利益	1,265	309	1,575	79	1,655	△362	1,293

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境分析事業、BDF事業、PCB事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△362百万円は、セグメント間取引消去10百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△372百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。